



野菜経営学科



野菜産地の次代のリーダーを育成するため、約30品目の生産管理を通して、高品質安定生産技術、施設の環境制御や機械などの省力・低コスト技術について学びます。さらに、流通の現状を踏まえ、需要に即した野菜生産と経営管理を学習します。



- 1 本県の主要野菜である、すいか、メロン、きゅうり、トマト等の基本的栽培技術とともに、生理生態などの基礎知識を幅広く習得し、複数品目の組み合わせなどによる野菜経営を学びます。
- 2 環境制御施設(自動温度管理・自動養液管理)を活用したトマト栽培に取組み、ICT活用による省力・低コスト技術について学びます。
- 3 露地野菜等の土地利用型野菜について、大規模栽培を想定した育苗管理や定植作業の省力化技術について学びます。
- 4 種苗会社や中央卸市場の視察研修、直売所の販売実習等を通して、品種開発の現状や野菜の市場・消費者の需要動向などの現状について学びます。



野菜経営学科1学年
菅井 真生(村山市出身)

たくさんの野菜について、実習、座学を通して基本的な栽培技術を学ぶことができます。また、仲間との実習や先輩方との寮生活はとても楽しいです。



花き経営学科



花き産地の次代のリーダーを育成するため、高品質生産を基本として、低コスト省エネルギーの実践的な生産技術、生産性向上のための環境制御技術、施設園芸の経営管理技術について学びます。さらに、花の販売・流通をはじめ、装飾技術など花き関連の幅広い知識も学習します。



花き経営学科1学年
水口 小春(戸沢村出身)

分からないことを聞いたり、教え合ったりしながら実習や座学などに取り組むことができます。また、多くの資格取得に挑戦することができて充実しています。

- 1 本県の主要切り花であるトルコぎきょう、ストック、きく等および鉢物・花壇苗のシクラメン、マリーゴールド、ビオラ等の生産技術の基本について実践的に学びます。
- 2 本県の主要な枝物花木である啓翁桜、スノーボール等の最新の生産技術について、実践的に学びます。
- 3 ハウス環境制御による生育調節や開花調節等について学ぶとともに、試験研究機関や先進農家等と連携し、最新の取組みについて学びます。
- 4 花き市場や生花店等の視察研修で花き流通について学ぶとともに、花きの利用技術としてフラワー装飾技能士(国家資格)を取得します。



※「野菜経営学科」と「花き経営学科」は、令和6年度より「野菜・花き経営学科」の野菜コースと花きコースとして再編予定です。